

科目名	食物栄養学演習（基礎）（卒業必修）					
授業形態	演習	学年	1			
開講時期	2023年度 前期	単位数	1			
担当教員	左 一八、宮下 朋子、鈴木 秀子、加藤 亮、小林 未希、漆谷 博志、武井 利之、横田 智史					
内容および計画	<p>学生がすみやかに大学生活に馴染み、学業に取り組むために必要な知識（授業履修、厚生制度、大学生活上での注意点等）および専門職として働くための意識を醸成する。さらに、食・栄養・健康に関する様々な専門的課題に関する講義・演習により、学生－学生間や学生－教員間の交流を通して、豊かな人間関係を築くこと、さらに一般常識に加えて、専門職としての基本的な知識・技能および倫理を養うことを目的とする。</p>					
1	食物栄養学演習（基礎）について：授業の目的、概要、内容、評価					
2	大学生活に関するオリエンテーション：履修登録、オフィスアワー、図書館の利用方法（蔵書検索、データ検索等）					
3	研究室・助手室訪問：学生-教員間の交流					
4	食・栄養・健康に関する講義・演習（1）					
5	食・栄養・健康に関する講義・演習（2）					
6	食・栄養・健康に関する講義・演習（3）					
7	食・栄養・健康に関する講義・演習（4）					
8	食・栄養・健康に関する講義・演習（5）					
9	食・栄養・健康に関する講義・演習（6）					
10	食・栄養・健康に関する講義・演習（7）					
11	自分の将来を考える（1）：インターンシップ、自主実習					
12	自分の将来を考える（2）：様々な進路先について、事例や注意点、今後の進め方					
13	特別講義：専門職として働く（外部講師による講義）					
14	社会で働くうえでのワークライフバランスと男女共同参画社会について					
15	卒業研究Ⅰのテーマを考える：卒業研究ゼミ紹介					
教科書						
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年	
必要に応じて資料を用意する。						
参考書	必要に応じて紹介する。					
成績評価						
	評価方法				割合(%)	
	レポート				100	
<p>授業開始時に出席をとる。15回の授業回数の2/3以上の出席が単位取得の条件である。 やむを得ない事情がない限り、全ての回の授業に出席することが望ましい。 様々な背景を持った学生の方たちが集まります。</p>						

学生－学生間、学生－教員間でのコミュニケーションなどに積極的に関わる姿勢が期待されています。

学習到達目標	①様々な課題に対して、学生、教員等と協力して解決することができる。 ②他者の意見に傾聴し、多様な考え方を受け入れたうえで、自ら考えて行動することができる。 ③自身の将来の目標について明確に表現することができる。
先修条件	
実務経験	
その他	